

ボランティア清掃活動で、町をキレイに

～町内一日清掃、栗山川周辺環境ボランティア、海岸清掃～

地域の住みよい環境の維持、わが町の象徴である栗山川の景観を守り、観光資源である木戸・屋形海岸周辺のより良い環境づくりのため、ボランティアによる清掃活動が行われました。5月30日の町内一日清掃では地区役員をはじめ大勢が参加しました。6月13日の栗山川周辺環境ボランティアには555人、6月16日の海岸清掃には、上堺・白浜小学校の児童を含め430人が参加し、それぞれが環境美化のため作業に汗を流しました。



▲栗山川環境周辺ボランティアには敬愛高校の生徒も参加



▶海岸清掃
海岸付近の小学校児童も参加



▶一日清掃
町内各地から出されたゴミ

荒れた梅林 再生へ意欲

～生き活き横芝の取り組み～

町内のあちこちに見られる耕作放棄地。坂田城跡梅林内にも、後継者がいないため手入れが行き届かない梅畑がいくつも見受けられました。そんな中、町の木でもある梅を再生できないものかと立ち上がったのが「生き活き横芝」という地元のボランティアグループです。平成16年から長年荒れ放題だった梅畑を、坂田城跡梅林組合の指導を受けながら、梅林の再生に力を注ぎました。組合との協力が実り、今では良質な梅の実が収穫できるまでになりました。グループの代表、齊藤旭さんに話を伺うと「会員の和と汗が力となってやっと実を結んだ」と笑顔で語っていました。

花に続いて実も満喫

～坂田の梅まるごと体験教室～



▲梅の加工教室

青梅の実の収穫から加工までを体験してもらおうと6月5日、12日、19日、「坂田の梅まるごと体験教室」と題し、梅の加工教室ともぎ取り体験が行われました。町内外の参加者約60人は、ほんのり香る青梅の香りを楽しみながら、梅林組合直伝の加工方法を習得しようと、熱心に取り組みました。続いて行われた梅の実のもぎ取り体験では、たわわに実る青梅を見つけ、2kg入るカゴを片手にあふれんばかりに収穫し、参加者には笑顔がこぼれていました。毎年参加する人もおり、梅農家の応援団を募り始まったこのイベントが、生産者と消費者をつなぐ架け橋となっています。



▲青梅を収穫する「生き活き横芝」グループ